

教員名	なかむら 中村 りつこ 律子
専門分野	高齢者福祉論
ゼミのテーマ	当事者の「生き方の技法」を学び、福祉実践とコミュニティのありかたを考える
ゼミの内容	<p>高齢社会では、人びとの生・老・病・死が日々営まれている生活の場(コミュニティ)のなかで、固定化され、制度化された仕組みを絶えず変革させる人びとの生き方の技法や創造性が重要といえるのではないのでしょうか。</p> <p>ゼミでは、都市地域や過疎地域で生活する高齢者の生き方、認知症高齢者と介護家族、障がいを抱えながらコミュニティのサポートネットワークの中で生活する人びとから「生き方の技法」を学び、その生き方を支える福祉実践(福祉制度、専門家によるソーシャルワーク)やコミュニティのありかたを模索したいと思います。</p> <p>演習Ⅰでは、当事者の生活世界にふれ、福祉実践の現場に出向き、多様な視点から、現状と問題点を学ぶことを目的とします。文献収集・整理などの事前学習をふまえ、福祉実践の現場である、認知症カフェ、当事者組織、施設への訪問を実施し、学習を深めます。研究対象は、各自の関心領域を前提としますが、ゼミメンバー(もしくは関心グループ)での事前学習や共通の施設見学などを通じて学ぶ機会も得たいと考えています。</p> <p>演習Ⅱでは、専門演習Ⅰでの学びや各自の実践活動から、さらに学習を深めるために、ゼミ生で議論し、考察していきます。演習Ⅲでは、これまでの各自の研究(文献研究やフィールドワークなど)の蓄積を卒業論文として作成します。</p> <p>文献学習やフィールドワークなどを通じて、個人研究だけでなく、ゼミで学ぶこと、知ること、さまざまなズレを認識するなかで、拡がりをもった視点や問題意識の成熟をめざして、楽しみながら、協力しあうゼミになることを期待しています。</p>
次年度選考会 選抜方法	①ゼミの志望動機、②関心領域、ゼミで取り組みたいテーマ、③自己紹介など、A4 1枚(1,200字程度)にまとめて提出してください。そのレポートをもとに面接を行います。